自由民主党
衆議院議員

新・信念通信
城内みのる

次世代を担う 衆議院議員城内実
覚悟と責任

今必要なのは、国民の生命と生活を守り抜くこと。

「国民の声」が届かない政治を改める。

政府は、国民生活を支えるために積極的な経済対策を。

「中から変える」

全国の方々から厳しい生活の現実や、事業者の悲痛な声を頂いている。

希望をできる抱き、安心の政治を。

国民目線

▲先頭に立って大胆な経済対策を提言をしてきた

▲党幹部へ何度も足を運び、要請を行う

二〇二〇年の冬から今にいたるまでの二年にも満たない短い間で、新型コロナウイルス感染症は私達の生活のあり方を大きく変えてしまった。まさに国難ともいうべき危機の中で、多くの国民が困難に直面している。今、政治はなにをやっているのだろうか、という思いで永田町を取材していると、「政府はとにかく全ての国民を救う大胆な対策を打て」と、奔走している城内実氏の姿があった。

当選五回の中堅議員として、自民党内でも存在感が高まっている城内氏の活動に迫った。

←2・3面　写真で迫る城内実氏「外交・経済・環境」の軌跡

▲城内氏の説明を聞く加藤勝信官房長官

―今のコロナ禍における政治の役割をどのように考えていますか。

今ほど政治の果たすべき役割が高まっている時はありません。感染拡大により医療はひっ迫し、経済活動の自粛により、多くの国民の皆さまの生活が厳しい状況にあります。

今必要なのは、国民の生命と生活を守り抜くこと。そのためには政府は財政支出を惜しんではならない。国民が希望を抱き、安心できるメッセージをしっかり示すことが必要だと思っております。

―議員連盟「日本の未来の勉強会」で顧問をつとめ、大胆なコロナ対策を提言していましたね。

若手議員から「是非顧問になってほしい」とお願いされ、引き受けました。昨年は個人への現金給付や、事業者への支援金給付を、党の中でも先頭に立って訴えてきました。結果として実現され、多くの国民、事業者の皆さまの手に支援が渡ったのはよかったです。

―個人への十万円現金支給や、事業者への最大二百万円持続化給付金、最大六百万円の家賃支援金などが実現した背景に城内さんたちの活発な動きがあったことは大きかったですね。

それでもまだまだ足りません。今も全国の方々から、厳しい生活の現実や、事業者の悲痛なお声を頂いています。

何より大切なのは、国民の皆さまが直面している現状、困難を踏まえた政策です。国民の生命と生活を守るために、全国すみずみまで行き渡る、これまでの発想にとらわれない、きめ細やかで大胆かつ迅速な経済対策が必要です。

「全国的かつ全員に行きわたる、これまでの発想にとらわれない大胆な経済対策」

▲党内で若手議員をけん引する役割を担う

―党内では、「政府がもっとお金を出すべき」と訴える人が少ないと聞きます。

昨年までは、いわゆる積極財政派は少数派でした。しかし、少数派だろうが、反主流派だろうが、先頭に立って「政府はもっと国民の生活を支えるべき」と声高に訴えてきました。今では、党内の様子もかなり変わったと思います。昨年に比べ圧倒的に「政府は積極的に財政支出をおこなうべき」と訴える議員が増えてきている。

―自民党を中から変えつつありますね。

今、与党自民党は「本当に国民の声を聞いているのか」と多くの方からお叱りの声を頂きます。「国民の声」が届かない古い体質の政治は改めるべきです。「中から変える」というと、少しおこがましいかもしれませんが、密室談合的な政治や上から目線の政治があってはなりません。真に国民目線の政治を行うことが、私の信念です。

―城内さんは次世代のリーダーとして期待されています。若手の国会議員からも「城内先生にはお世話になっている」という声を聞きます。

志を同じくする若手の国会議員を集めて勉強会を開催したり、選挙についてアドバイスすることは増えました。頼ってくれる後輩議員には、私が与えられるものは全て与えるくらいの気持ちで接しています。

「今のままではダメだ！政治に国民の声を届けるんだ！」と考える議員は増えています。そういう若手議員とともに、これからの時代を担える政治をつくっていきたいと考えております。

最新情報はこちら！
きうちみのる

公式HP　Twitter　Facebook　Instagram　YouTube　党員募集中！

「地元浜松・湖西の産品をPR生産者を応援したい」

▲たくさんの地元産品とともに上京した城内氏

城内実氏の東京議員会館の事務所は地元産品であふれているという噂を聞き事務所を直撃してみた。

―まず事務所に入って木の香りがすごいですね！

議員会館内の木質化ナンバーワンを目指し、壁には木材パネルを貼って、机や椅子も木製品にしました。これらは全部、地元の天竜材でできたものです。事務所を訪れた方は、「木のいい香りがしますね」と関心を持ってくれます。そこから天竜材を知って頂くきっかけになれば嬉しいですね。

―綺麗なお花も活けてありますね。

日照時間が全国トップレベルの静岡県西部にある浜松市と湖西市は、ガーベラをはじめとするいろんな種類の花を栽培する日本有数の生産地です。隔週で地元から東京の事務所に送って頂いており、私自身地元のお花屋さんで買って東京事務所に持っていくこともあります。事務所を訪れた方は「お花綺麗ですね」と言ってくれるので、「私の地元浜松湖西の名産なんだよ」とPRしています。

―食事も地元産にこだわっていると聞きました。

浜松湖西の食べ物は本当に最高です。安心安全で美味しい。地元に帰った際、直売所などで野菜や果物、魚介類をたくさん買って東京に持参し、美味しく頂いています。コロナ禍で厳しい状況にある生産者さんが多くいらっしゃる今、微力ではありますが、地場産品の消費と宣伝をできればと思っております。

▲城内氏のInstagram（インスタグラム）の投稿

浜松産みかん ファン増えてます！

「スタッフともよく頂いています」

両手に三ケ日みかん!!

大臣室でみかんをほおばる江藤拓農水大臣（当時）

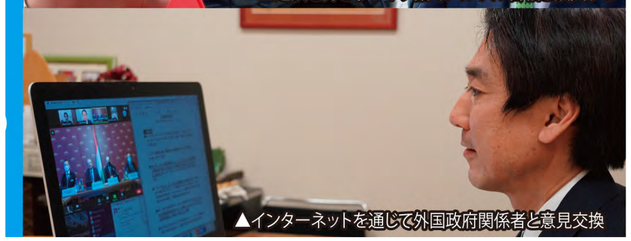
歴代農水大臣で浜松のみかんを知らない人はいないかも？

外交 Diplomacy

▲外務副大臣として「地球儀を俯瞰する外交」推進に尽力

▲日本国の代表として、何度も外交交渉の最前線に立ってきた

▲通訳を介さずドイツ語でメルケル首相と談笑する


▲インターネットを通じて外国政府関係者と意見交換

―やはり「外交の城内」という印象は強いです。コロナ禍の今、外交はとても難しいのでは？

元々私は外交官であったこともあり、外交・安全保障を得意な分野としておりました。外務副大臣を退任してからも、ドイツをはじめ多くの国々のリーダーたちと今も議論をおこなったり、日本の立場を説明したりしています。

―議員外交ですね。

コロナ禍でお互い行き来することができないので、インターネットを通じて会議を行ったり工夫しています。こうした時期だからこそ、海外の状況を聞くことはとても大切です。いいなと思った海外のコロナ対策や工夫は、日本にもどんどん取り入れていきたい。

また、コロナ禍でも国際情勢は刻々と変化を続けており、日本の立場を説明したり、協力を呼びかけていくことはこれまで通り大切なことです。

―今年、ドイツの国防大臣に外交防衛閣僚関係会議（いわゆる2＋2）開催を提言して実現したとか。

日本とドイツの防衛フォーラムに参加した際、ドイツの国防大臣に「安全保障の分野で日本とドイツの協力を深めるため、外務・防衛担当閣僚会合（2＋2）を開催するべき」と提言しました。

国防大臣からは肯定的な回答を引き出し、その後すぐに実現されました。

―外務・防衛担当閣僚会議（2プラス2）とは？

二か国の外交担当と防衛担当の大臣同士で、安全保障分野の協力などについて直接話し合う会議です。対中国外交を進める上でこの会議はとても重要です。

―ちなみに城内さんといえば、ドイツのメルケル首相と直接会話していた姿が印象的ですが、外国要人との会議では通訳を介していますか？

できるだけ、英語で行われる会議は英語で、ドイツ語で行われる会議ではドイツ語で参加するようにしています。

通訳を介さず自分の言葉で相手に伝えることは、通訳を介する場合と全然違います。

そのためにも毎日可能な限り、スキマ時間を利用して英語やドイツ語のニュースを読んだり聞いたり、独り言で口に出したり、勉強を続けています。

―経産部会長時代はいかがでしたか？

中小企業・小規模事業者を支援する政策を実現させるため、「現場の声」をとにかく聞くことに力を入れました。

統計やデータ、理論をもとに政策を考えることももちろん大切です。しかし、当事者が何を必要としているか、現場にどんな課題があるのか、これは現場に行かなければわかりませんし、現場の声無くして、本当に当事者が必要としている政策は実現できません。

―環境副大臣時代も現場を大切にし、あまり副大臣室にいませんでしたね。

環境問題は、一国で解決できない地球規模の課題であるため、海外に行くことも多かったです。また、日本全国の様々な現場に足を運び実際に見て、話を聞いて現場の方々と一緒に課題や解決策を考えてきました。

―日本にとって重要な、数々の役職を務めてきた城内さんに益々期待です！

経済 Economy

▲経済産業部会長として、中小企業・小規模事業者を支援するための政策を担ってきた

▲地元企業経営者の話を聞く城内氏 何より現場の声を大切にする

▲スズキ自動車のインド工場を視察 日本企業の海外展開も支援

▲甘利明元経済再生担当相や世耕弘成経産相（当時）からも一目置かれている

―ちなみに城内さんといえば、ドイツのメルケル首相と直接会話していた姿が印象的ですが、外国要人との会議では通訳を介していますか？

できるだけ、英語で行われる会議は英語で、ドイツ語で行われる会議ではドイツ語で参加するようにしています。

通訳を介さず自分の言葉で相手に伝えることは、通訳を介する場合と全然違います。

そのためにも毎日可能な限り、スキマ時間を利用して英語やドイツ語のニュースを読んだり聞いたり、独り言で口に出したり、勉強を続けています。

―経産部会長時代はいかがでしたか？

中小企業・小規模事業者を支援する政策を実現させるため、「現場の声」をとにかく聞くことに力を入れました。

統計やデータ、理論をもとに政策を考えることももちろん大切です。しかし、当事者が何を必要としているか、現場にどんな課題があるのか、これは現場に行かなければわかりませんし、現場の声無くして、本当に当事者が必要としている政策は実現できません。

―環境副大臣時代も現場を大切にし、あまり副大臣室にいませんでしたね。

環境問題は、一国で解決できない地球規模の課題であるため、海外に行くことも多かったです。また、日本全国の様々な現場に足を運び実際に見て、話を聞いて現場の方々と一緒に課題や解決策を考えてきました。

―日本にとって重要な、数々の役職を務めてきた城内さんに益々期待です！

環境 Environment

▲環境副大臣として、日本全国の様々な現場に足を運んで関係者の話を聞き、課題に対処してきた

▲日・モンゴル環境協定署名式

▲「見る・聞く・触れる」を徹底する

▲持ち前の交渉力・語学力を活かし、日本の環境協力を世界に展開

―やはり「外交の城内」という印象は強いです。コロナ禍の今、外交はとても難しいのでは？

元々私は外交官であったこともあり、外交・安全保障を得意な分野としておりました。外務副大臣を退任してからも、ドイツをはじめ多くの国々のリーダーたちと今も議論をおこなったり、日本の立場を説明したりしています。

―議員外交ですね。

コロナ禍でお互い行き来することができないので、インターネットを通じて会議を行ったり工夫しています。こうした時期だからこそ、海外の状況を聞くことはとても大切です。いいなと思った海外のコロナ対策や工夫は、日本にもどんどん取り入れていきたい。

また、コロナ禍でも国際情勢は刻々と変化を続けており、日本の立場を説明したり、協力を呼びかけていくことはこれまで通り大切なことです。

―今年、ドイツの国防大臣に外交防衛閣僚関係会議（いわゆる2＋2）開催を提言して実現したとか。

日本とドイツの防衛フォーラムに参加した際、ドイツの国防大臣に「安全保障の分野で日本とドイツの協力を深めるため、外務・防衛担当閣僚会合（2＋2）を開催するべき」と提言しました。

国防大臣からは肯定的な回答を引き出し、その後すぐに実現されました。

―外務・防衛担当閣僚会議（2プラス2）とは？

二か国の外交担当と防衛担当の大臣同士で、安全保障分野の協力などについて直接話し合う会議です。対中国外交を進める上でこの会議はとても重要です。

「地元に国の予算や、支援を獲得するのも私の大切な仕事です！」

新みっかび選果場

▲最新鋭システムの日本一の選果場ができる！

AIによる選果機や生産者の負担を減らす施設などを導入した日本最大規模の選果場建設を国が支援しています。

新居弁天一帯 再整備

▲アウトドアレジャーの一大聖地を目指す

新居弁天観光地域の活性化に向けた施設整備などの取り組みに対し、国が支援します。

舘山寺一帯観光拠点再整備

▲地域住民も旅行者も満足できる観光地へ

舘山寺を中心とした浜名湖観光圏が一丸となって進める、より良い観光地域づくりを国が支援します。

三遠南信自動車道

▲全線開通に向けての道筋が立った

水窪佐久間道路が平成31年に新規事業化され、三遠南信自動車道の全線開通に向けて着々と進んでいます。

北遠 光ファイバー整備

▲歴代総務大臣に、地域の実情を伝えてきた

在宅勤務やオンラインでの医療、教育などの生活向上のために、天竜区の光ファイバー整備を国が支援しています。

災害緊急復旧整備

▲災害発生後、現場の状況を聞き国へ要望

令和2年７月に発生した豪雨災害の被害を早急に復旧・整備するため、緊急事業費として国の予算を獲得しました。

「コロナ禍でみんなが苦しい時だからこそ、もっと生の声を聞かなければならない」

▲使えるコロナ支援策情報とご意見ご要望のアンケートを一軒一軒ポスティング

▲密を避け、青空国政報告会を各所で実施

▲初心を忘れず、赤松坂交差点等で連日街頭演説

▲静岡県政経塾で塾長をつとめ、若手を育成

▲オンラインで地元の皆さまのご意見・ご要望を聞く

城内 実　略歴

（きうち・みのる）1965 年 4 月 19 日生まれ。東京大学卒業後、外務省に入省。在ドイツ日本国大使館勤務。天皇陛下、総理らのドイツ語通訳官を経て、2002 年に退官。地元の自民党支部長公募に応募し、03 年、衆議院議員初当選。05 年の「郵政」総選挙で 748 票差にて惜敗するも、09 年総選挙にて大差で再選。これまで法務委員会、文部科学委員会、農林水産委員会、郵政民営化特別委員会などに在籍。12 年、自民党に復党し 12 月の総選挙で 3 選。同月に発足した第 2 次安倍晋三内閣で、外務大臣政務官に抜てき。13 年、自民党外交部会長、14 年 9 月、外務副大臣に就任。同年 12 月の総選挙で野党候補に約 10 万票の大差をつけて 4 選し、外務副大臣留任。党行政改革実行本部副本部長、国際局長代理を務め、外務委員会などに所属、16 年 9 月から衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会委員長。17 年 8 月には党経済産業部会長に就任。同年 10 月の総選挙で、再び対立候補に 10 万票の大差で当選。18 年 10 月、環境副大臣。現在、党国会対策副委員長、党広報本部長代理。5 期目。

第 48 回衆議院議員総選挙（平成 29 年 10 月 22 日）
静岡県第7選挙区 小選挙区開票結果

候補者名	党 派	得票数	得票率
城内　実	自民	129,463	65.80%
福村 隆氏	希望	29,905	15.20%
比　日吉 雄太氏	立民	26,383	13.41%
野沢 正司氏	共産	10,980	5.58%

有権者数 332,724 人　投票者数 199,629 人　投票率 60.00%

第 47 回衆議院議員総選挙（平成 26 年 12 月 14 日）
静岡県第7選挙区 小選挙区開票結果

候補者名	党 派	得票数	得票率
城内　実	自民	132,698	70.93％
松本 泰髙氏	民主	37,654	20.12%
野澤 正司氏	共産	16,743	8.94%

有権者数 327,260 人　投票者数 191,264 人　投票率 58.44%

YouTube チャンネル開設しました！

見てね！

城内実チャンネル

対談動画や国会質疑、地元での活動などを動画で発信してます！

▲藤井聡元内閣官房参与と日本経済を語る！！

▲城内氏の国会での活躍の様子も見れる？

▲「国家の品格」でおなじみ藤原正彦先生

▲すしざんまいの木村清社長と熱い対談！

お問い合わせ
【浜松事務所】新事務所となり、住所が変わっています！
〒433-8112　静岡県浜松市北区初生町1288-1　TEL〈053〉430-5789　FAX〈053〉430-5756
【国会事務所】
〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館623号室
TEL〈03〉3508-7441　FAX〈03〉3508-3921
E-mail：info@m-kiuchi.com　URL：http://www.m-kiuchi.com

▼インターネット上でも、皆さまのお困りごとやご意見、ご要望をお待ちしております。

【衆議院議員城内実】 皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください